

平成 28 年度公立高等学校入学者選抜において、多くの採点誤りが判明し、平成 27 年度入学者選抜についても採点の再点検を行った結果、誤りがあることが判明しました。

この採点誤りにより、結果として2年間で4名、本来合格とすべき受検者を不合格としてしまうという、あってはならない事態を起こしてしまいました。

また、平成 27 年度については、保存期間経過前に答案用紙を廃棄してしまった高校が3校あることも判明しました。

入学者選抜は、公正かつ厳正に行わなければならないところ、採点の誤りや答案の誤廃棄があり、受検生をはじめとして、保護者や中学校関係者、さらに県民の信頼を損ねることとなったことは、誠に申し訳なく、一切の弁解の余地のない事態であると、重く受け止めております。

今後、県民の信頼を回復するため、このたびの事態を徹底的に検証し、早急に再発防止策を検討、策定して、来年度の入学者選抜に反映していく所存です。

県民の皆様にご迷惑をおかけいたしましたことに対して、改めて心からおわび申し上げます。

神奈川県教育委員会 教育長

桐谷 次郎